



きくよう



◎表紙

目次	12月定例会	P 2	常任委員会報告	P 9～10
	12月臨時会	P 3	TSMCについて	P 11
	一般質問	P 4～8	Tea Time	P 14

令和3年第4回菊陽町議会定例会

12月定例会に上程された案件は、承認2件、議案13件、発議1件、請願1件、追加議案1件であった。令和3年度、一般会計補正予算、特別会計補正予算ともに慎重に審議された。12月議会の会期は、12月2日～13日までの12日間。一般質問者は9名で、町政に対して幅広い質問が続いた。

付議事件

- ◇承認第8号 専決処分の承認（令和3年度菊陽町下水道事業会計補正予算（第2号））
- ◇承認第9号 専決処分の承認（令和3年度菊陽町一般会計補正予算（第5号））
- ◇議案第49号 菊陽町子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定
- ◇議案第50号 菊陽町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定
- ◇議案第51号 菊陽町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定
- ◇議案第52号 菊陽町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定
- ◇議案第53号 令和3年度菊陽町一般会計補正予算（第6号）
- ◇議案第54号 令和3年度菊陽町土地取得特別会計補正予算（第1号）
- ◇議案第55号 令和3年度菊陽町工業団地造成事業特別会計補正予算（第1号）
- ◇議案第56号 令和3年度菊陽町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- ◇議案第57号 令和3年度菊陽町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- ◇議案第58号 令和3年度菊陽町介護保険特別会計補正予算（第2号）
- ◇議案第59号 令和3年度菊陽町下水道事業会計補正予算（第3号）
- ◇議案第60号 財産の処分
- ◇議案第61号 令和3年度菊陽町一般会計補正予算（第7号）
- ◇発議第9号 北朝鮮による日本人拉致被害者全員の即時帰国を求める意見書（案）
(上記 16議案については、全員賛成で可決)
- ◇請願第2号 町道新山武蔵ヶ丘線における交通安全対策
(上記 請願賛否については別紙参照)

付議事件（追加）

- ◇議案第62号 令和3年度菊陽町下水道事業会計補正予算（第4号）
(上記 議案については、全員賛成で可決)

◇議案第50号
菊陽町廃棄物の処理及び
清掃に関する条例の一部
を改正する条例の制定

《内容》

町が委託した者以外の
者が資源物を収集運搬す
る行為を禁止している
が、抑止力向上のための
制定。

《Q》

持ち去り、車のナン
バーを確認し、町に連絡
すれば、誰の所有なのか
照会できるか。

《A》

現場を押さえたとき
は、ナンバー等を写真に
収めているが、照会まで
はやっていない。条例の
目的は捕まえることでは
なく、抑止力を高めるこ
とである。

まずはパトロール等の
強化をおこなっていく。

《Q》

収集する場所に立て看
板の設置が必要と思うが
どうか。

《A》

罰則規定の看板設置と
ホームページ等での周知
を図っていく。併せてパ

トロールを実施してい
く。

◇議案第62号
令和3年度菊陽町下水道
事業会計補正予算
(第4号)

《内容》

第二原水工業団地に伴
う下水道整備に関わる交
付金が、本年度施行分は
事業費の2分の1が交付
されるため。

《Q》

国から2分の1の補助
があるが県からの補助は。

《A》

県下の社会資本総合交
付金の予定事業の不用額
を集め、菊陽町に流用さ
れており実際は国費であ
る。県からの支援ではな
い。

《Q》

当該事業の残りに対し
ても交付金を貰えるよう努
力していくということか。

《A》

国の重要な事業である
ので、当初交付金は0円で
あったものが2分の1の補
助となった。今後也要望活
動をおこなっていく。

12月定例会での議員の賛否を公開します

○は賛成 ●は反対 棄は棄権 除は除斥 欠は欠席 早は早退

議案番号	結果	表決数		廣瀬	矢野	大久保	阪本俊	西本	那須	佐々木	中岡	北山	布田	坂本秀	渡辺	佐藤	甲斐	岩下	小林	福島	
		賛成	反対																		
請願第2号	不採択	1	16	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。 ※報告は採決がないため削除しています。
結果は、可決・否決・同意・適任・採択・不採択・承認・認定・継続審査

令和3年第2回菊陽町議会臨時会

12月臨時会に上程された案件は、承認1件、議案1件であった。会期は12月27日の一日限り

付議事件

- ◇承認第10号 専決処分の承認（令和3年度菊陽町一般会計補正予算（第8号））
（上記 議案については、全員賛成で可決）
- ◇議案第63号 財産の処分

◇議案第63号 財産の処分

《内容》

T S M C が新たに設立した会社と土地譲渡仮契約締結に至ったため。

《Q》 企業誘致に多額の税金が投入されることに対し、町民の理解は。

《A》 半導体の国内生産など国策として、国会で議論を踏まえた上で成立した内容と承知している。

《Q》 企業進出で地下水の減少などの影響はないのか。

《A》 具体的な地下水の採取量は、現時点では未確定と聞いている。県が公表している地下水の水位は平成17年度を境に上昇傾向となっている。

《Q》 町にとって税金など、どのような影響があるのか。

《A》 固定資産税や法人町民

税などの増収は期待できるが、具体的に投資が決まっていないので算出できない。

《Q》 これだけの税金を投入するので、地下水の採取量等の個別の公表は必要ではないのか。

《A》 所管が県であるので、確認したが、個別での公表はしないと聞いている。HPなどでは、採取量は町全体で示されている。

《Q》 契約相手方の特定、所在地の確認はしたのか。

《A》 所在地は登記簿等、印鑑証明等を頂戴して確認している。現地に行き会社の存在は確認している。

《Q》 未買収の土地はその後どうなったのか。

《A》 まだ未買収であるため、所有者とは粘り強く交渉している。今後は所有者を含め3者で整理して交渉に臨む。

12月臨時会での議員賛否を公開します

○は賛成 ●は反対 棄は棄権 除は除斥 欠は欠席 早は早退

議案番号	結果	表決数		廣瀬	矢野	大久保	阪本俊	西本	那須	佐々木	中岡	北山	布田	坂本秀	渡辺	佐藤	甲斐	岩下	小林	福島
		賛成	反対																	
議案第63号	可決	16	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	棄	○

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。 ※報告は採決がないため削除しています。



福島 知雄 子ども議会を開催すべきと考えるが、どうか …P4

矢野 厚子 生ごみ処理機の助成金の増額を …P5

佐々木理美子 町職員の女性管理職登用がゼロ%はなぜか …P6

布田 悟 白水大地の土地利用計画と地域構想は …P7

坂本 秀則 原水周辺に立地企業の社宅等の設置はできないか …P8

甲斐 榮治 県の視点を踏まえながらも鉄道計画へ町的意思表示を …P5

廣瀬 英二 通学路要対策箇所の進捗状況と今後の計画は …P6

西本 友春 巡回バスの低床化への取り組みは …P7

小林久美子 パートナーシップ制度導入できないか …P8

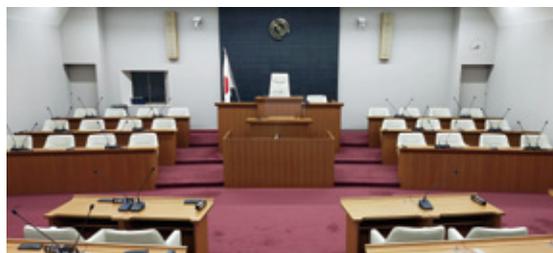
一般質問は会議録に基づき、質問者本人が編集し、議会広報特別委員会で校正し、掲載しています。

Q 子ども議会を開催すべきと考えるが、どうか

A 令和4年度から夏休み間、定期的で開催する方向で準備を進めていく



福島 知雄 議員



Q 学校教育の一環として模擬議会を通じ、政治や行政、議会の仕組みや役割を勉強させ、自分の住む町の町政に興味や関心を持ち、理解を深める場を設け町の将来について考え、子どもたちが日頃疑問に思っていることや希望など、素直な感性から出された意見、提言を聞き、町政に反映させる場にもなり、また、町政をより身近なものとして捉え、ふるさとを愛し、ふるさとを支える自覚と志を持つ子どもを育成するいい機会にもなる。青少年の健全育成を図る政策としても有効であると思うがどうか。

A 将来を担う子どもたちも、行政や議会を身近なものとして早くから関心を持ち、主権者としての自覚を持つことは大変重要であり、教育的に大変有意義なものだと考える。今後の新型コロナウィルスの感染状況を注視しながら、令和4年度から夏休みの間、定期的で開催する方向で準備を進めていく。

Q TSMCの進出で一層の交通渋滞が懸念される。主要道路の整備など国・県に要望していくべきであり、特に県道大津植木線の4車線化は重要であると思うがどうか。

A 菊陽空港線の延伸を進めながら、県道大津植木線の4車線化を県にしっかりと要望していく。

その他の質問

・女性議会を開催すべきと考えるが、どうか

Q 県の視点を踏まえながらも鉄道計画へ町的意思表示を

A 県の事業化が明確になれば、議会や町民の意見をまとめて主張する



甲斐 榮治 議員



整備中の第二原水工業団地



従来の県の分岐案

Q 空港アクセス鉄道計画については、世界的半導体生産企業である、台湾のTSMCがわが町に進出することによって、三里木駅からの分岐の他に原水駅と大津駅が再検討の対象となった。

本来の目的は、最大の需要地である熊本市と空港を最短距離・最短時間で結ぶことであった。さらに、県の運動公園と免許センターへのアクセスの改善とその付近に設ける中間駅周辺への様々な施設や企業の誘致もめざされていた。

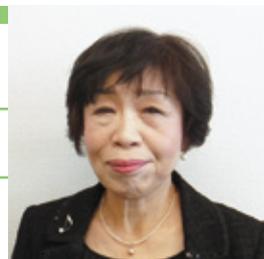
菊陽町は地元としての要望を積極的に発信すべきと思うが、どうか。

A 町としてはこのために500万円の予算を計上したが、県で事業化の判断がなされないので使う機会がない。計画に対する財源についても、県は国・県・JRが3分の1ずつ負担すると考えていたようだが、国の現行の補助制度の限度は18%なので、まだ不透明なままである。

新検討案は3駅だが、どんな検討がなされるのか、第2原水工業団地周辺の取扱いがどうなるかを注視しつつ、議会とともに意思表示をしていきたい。(他にTSMC関連質問)

Q 生ごみ処理機の助成金の増額を

A 価格や性能で、より効果がある資料を取り寄せ検討する



矢野 厚子 議員



その他の質問

- ・選挙の投票率向上対策
- ・期日前投票の期間

Q ごみ減量の具体的な対策は考えているか。

A 人口一人当たりのごみの量は4市町で一番多い。これが管理運営の負担金に反映されるので、減量化に向けて区長会等の各種研修を行い施策に取り組んでいる。

Q 生ごみ処理機の助成金の申請状況は。

A コンポストと電動式の物があり年々電動式が増えていて、ごみ減量に有効な手段だと考えている。

Q 処理機の種類が少なく安い物は購入後にも消耗品にお金がかかる。助成金の増額はできないか。

A 価格や性能等の資料を取り寄せ検討する。

Q 中学校の制服が在校生中に再度必要になった時また、経済的に余裕のない家庭に対する対応は。

A 在校生中に災害など不測の事態で再購入が必要になった場合は、転入生と同様に卒業生から寄贈された制服を利用したり体操服などで過ごすこともある。

Q 学校で先生方が管理している生活支援を、社会福祉協議会に、不要になった制服を寄付して委託するSDGsの取り組みにしたらどうか。

A 早速、提案の内容を社会福祉協議会に伝える。

Q 通学路要対策箇所の進捗状況と今後の計画は

A 未実施の箇所については広域本部や警察に要望を続けている



原水踏切

廣瀬 英二 議員



Q 令和2年度、総点検での通学路の危険箇所は武蔵ヶ丘中学校区で、武蔵ヶ丘小4件、西小5件、武蔵ヶ丘北小5件、菊陽中学校区の北小で3件、併せて17件が指摘をされている。対策の進捗状況と今後の計画を示せ。

A 町で対応できる対策については、交差点のカラー舗装工事など迅速に対応しているが、県の広域本部や警察が対策を行う箇所については、県全体の優先順位で実施されるので、年度内の対応が困難な場所もあり、未実施箇所については要望を続けている。

その他の質問

◆復興まちづくり事業の進捗状況

- ・下水道地震対策事業
- ・地区公民館耐震診断
- ・防災土育成事業
- ・自主防災組織育成事業
- ・救援物資配布の改善策

Q 町の事業の中で、児童の通学路となっている原水駅東側踏切の拡張、歩道の設置については令和3年度での予算措置となっているが、年度内に行えるのか。

A 現在、JR受託工事として着手に向けて進めている。拡張工事とJR電気通信設備撤去まで含めた工事完了は令和4年度になる見込みである。

Q 令和3年度、総点検での通学路の危険箇所は今後の対策として、通学路の変更、横断歩道の設置、交差点の色塗りなどを併せて48件に上るが、ガードレール設置の検討はしていないのか。見守り活動をしている立場から問題提起をしておく。

Q 町職員の女性管理職登用がゼロ%はなぜか

A 女性管理職の育成をしっかりと行なっていく

佐々木 理美子 議員



その他の質問

- ・パートナーシップ制度を導入
- ・保育園の受け入れ状況をHPで掲載
- ・緊急医療情報キット「命のバトン」

Q 菊陽町の女性管理職の構成比率は、令和2年度4.9%の状況だったが、本年度はゼロ%になっているのはなぜか。

A 女性管理職目標達成に向けた取組として女性職員の育成を図る必要がある。多様なポストへの配置であったり、外部研修に積極的に参加させるなど、係長、課長補佐、課長、部長の各段階における人材の確保に向けた育成をしっかりと行っていく必要があると考えている。

Q 土砂災害警戒区域に指定された家庭への戸別受信機の設置の進捗状況はどうなっているのか。

A 土砂災害警戒区域内にある住宅を対象として117世帯となっており、その内訳は、戸次13世帯、馬場桶2世帯、曲手10世帯、辛川5世帯、大堀木2世帯、上津久礼26世帯、下津久礼47世帯、東ヶ丘9世帯、古閑原2世帯、入道水1世帯で、11月末現在113世帯に設置しており、残りの世帯に設置して事業の終了となる。

Q 巡回バスの低床化への取り組みは

A 委託先のバス事業者と協議中



西本 友春 議員



その他の質問

- ・環境問題
- ・新型コロナウイルス感染症対策



Q 昨年12月の一般質問で、現在の一日3便から

9便に変更すること、指定乗降場所を増やすことを提案した。当時、利用者の方から利用できない時間帯や、乗り降りできない指定乗降場所を増やしてほしいとの要望をいただいております。本格運行に向けて検討していきたいとのことだったが、検討結果はどのようになっているのか。

A 新型コロナウイルスの影響を見極めつつ、町民の皆様に乗合タクシーの利用方法について説明する機会を積極的に設け、御意見や御要望も伺いながら、増便や時間変更、指定乗降場所の見直しなども含め、利便性の向上につながるよう検討を進める。

Q 菊陽町にお住まいで、巡回バスを利用される80歳代の女性の方から、巡回バスの乗降ステップが低床化されていないので、乗り降りに一苦労するのでは何とか解消してもらえないかとの声を頂戴しており、低床化の取組をどのように考えているのか。

A 委託先のバス事業者が所有する車両を使用しており、今後ワンステップバスの1台についてはノンステップバスにするよう委託先のバス事業者と協議しているところである。

Q 白水台地の土地利用計画と地域構想は

A 大きな社会情勢の変化が訪れている。上位計画との整合の検討が必要



布田 悟 議員



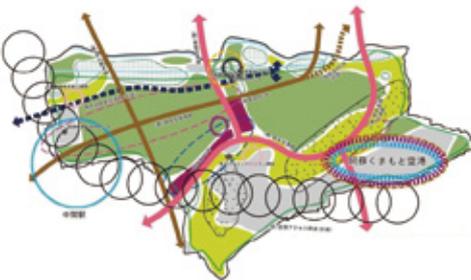
馬場踏切

Q 新町西区西南部からの危険を伴う通学路の見直しについては。

A 馬場踏切付近については、原水駅東側の踏切に歩道が設置されるまでは交通安全指導を強化する。

Q 6月議会において、菊陽北小学校の「校区見直し」の質問に対する見直し内容は。

A 7月の定例教育委員会において「小中学校就学等に関する規則」にある区域外就学基準を見直し、通学距離を小学校においては4kmを3kmに改正。鉄砲小路西部地区の3kmを超える32世帯に住民説明会の案内を出し、8月に実施した。



【菊陽南小学校区】将来都市構想図

Q 台湾の半導体メーカーの進出により原水工業団地周辺の開発が進むが、富永町長時代に計画された土地利用計画が進まない原因は。

A 都市計画マスタープランでは市街化調整区域において、一定の産業振興を促進するための土地利用検討エリアとして、白水台地、久保田台地、空港周辺の3ヶ所を土地利用検討ゾーンと位置付けている。都市計画の決定にあたっては農地法などのクリアすべき課題があり、今後は農業振興との整合を図りながら、予想される企業からの具体的な需要に応じて検討する。

Q パートナーシップ制度導入できないか

A 近隣市町村の情報を得ながら検討していきたい



小林 久美子 議員



Q パートナーシップ制度とは、戸籍上は同性であるカップルを婚姻に相当する関係と公認する制度。地方自治体が婚姻と同様の行政・民間サービスを受けやすくするものである。この制度は、熊本市、大津町でも導入されている。都市部ではパートナーシップ制度の導入が進み、制度適用のある人口は、総人口の40%となっている。制度の導入には、行政としての予算も必要なく、行政の多様性に対する先進性を示すことになる。菊陽町でも導入を急いでほしい。



整備中の第二原水工業団地

その他の質問

- ・子育て世帯への臨時特別給付金は、一括現金給付できないか
- ・TSMC企業誘致について

A この問題は、国も法整備がまだまだ進んでいないところもあるため、勉強していきたい。近隣市町村と情報を得ながら検討していきたい。

Q 国の法整備を待っていてもなかなか進まないため、多くの自治体が行っている。男女平等多様性尊重への一歩を踏み出してほしい。

Q 原水周辺に立地企業の社宅等の設置はできないか

A 立地企業から相談があれば、国・県へ働きかけを含め検討する



坂本 秀則 議員



Q 交通渋滞緩和のため、原水工業団地立地企業への社宅等を設置できるよう、国・県・企業へ働きかけはできないか。

A 県との協議を重ねているが、立地企業から相談があれば、国・県へ働きかけを含めて検討する。

Q 工場周辺の里道及び町道の拡幅と団地内道路の見直しの協議の結果と対応はどうするのか。

A 町道古閑原西護川線は、離合箇所を設けるなど最善策を講ずる。団地内道路については団地造成工事完了後、直線的な道路へと検討する。

Q 県道大津植木線に信号機設置の協議結果と対応はどうするのか。

A 関係部と連携し、設置位置を検討し、熊本県警に要望していく。

Q 工場操業にともない周辺で事故や災害が発生した場合、町の対応はどうするのか。

A 地域住民の安全を最優先にして対応したいと考えている。

Q 都市計画道路、下原堀川線を県道大津植木線まで、延伸すべきではないか。

A 菊陽空港線延伸・県道大津植木線、4車線化後に取り組む。

Q 柳水湧水公園整備計画の協議結果と対応は。

A ボーリング調査を踏まえ進めていく。

その他の質問

- ・災害に強いまちづくりについて

付託案件を慎重審議



常任委員会報告

- 総務常任委員会
- 産業建設常任委員会
- 文教厚生常任委員会

総務常任委員会

委員長・佐々木理美子



委員長
佐々木理美子



布田 悟



中岡 敏博



副委員長
大久保 輝



北山 正樹



那須真理子

付託事項

請願第2号 「町道新山武蔵ヶ丘線における交通安全対策について」審議を行った。

12月8日、危機管理防災課の案内で、合志市内に設置してあるハンプ設置箇所と、請願された「町道新山武蔵ヶ丘線」の現地調査を行った。

次に紹介議員の渡辺議員から、請願内容の確認を行った。地域等から

要望がでてきているか、建設課と危機管理防災課に確認したところ、提出はされていないと確認した。

請願項目1 「武蔵ヶ丘中、武蔵ヶ丘コミュニティセンター向かい側の路線帯部を武蔵ヶ丘団地20号線のカラー塗装」については、ラバーポールがあるので必要がないとの意見が出た。ラバーポールは破損箇所があるが、通学路緊急合同点検における緊急改善箇所の対策として、修理される計画である。



武蔵ヶ丘コミュニティセンター前

請願項目2 「武蔵ヶ丘コミュニティセンター駐車場下段の空き地

横のカーブ部分付近に「ハンプ」を設置」については、子どもたちの安全を考えて「ハンプ」を設置するとの要望だが、大型車の振動や2輪車の転倒の危険も想定されるため、慎重にすべきであるとの意見が出た。

請願項目3 「熊本市に隣接する

当該道路を中心とする、変則5差路状況部分を青色塗装で囲むなど」については、この場所はS字カーブで、青色塗装に気づいたとしても、すぐ交差点が目の前に迫っていることから、「交通安全対策の効果があるのか」との意見が出た。

以上が、審査の経過である。

「請願第2号」について採決を行った結果、「不採択」と決した。

文教厚生常任委員会

委員長・坂本秀則



委員長
坂本 秀則



福島 知雄



渡辺 裕之



副委員長
廣瀬 英二



岩下 和高



阪本 俊浩

研修先及び研修日

研修先 菊陽町社会福祉協議会
日時 令和3年10月21日
場所 老人福祉センター

研修内容

- 1 菊陽町社会福祉協議会の概要
- 2 菊陽町社会福祉協議会の予算
- 3 菊陽町社会福祉協議会の事業



佐藤 竜巳



小林久美子



委員長
西本 友春



副委員長
甲斐 榮治



副委員長
矢野 厚子

産業建設常任委員会

委員長・西本友春



社会福祉協議会研修の様子

菊池環境工場クリーンの森合志の視察

11月18日産業建設常任委員会で、令和3年3月に完成し4月から供用開始した「クリーンの森合志」新環境工場（ごみ焼却施設）の視察を行った。建物全体はごみ焼却施設を連想できない清潔で明るい建物となっており、内部のいたるところに、見学に来た子どもたちが楽しく学習できるようにくまなく、壁や床にクイズが映されたりして、あきない工夫がされていた。また、ごみ焼却時のエネルギーを利用して、発電も行なわれており、所内の電気は賄われていて余剰分は売電が行なわれている。資源の循環が行なわれ工夫された施設になっっている。焼却時に発生する排水、工場内生活排水などは内部で処理して循環再利用されている。

また、施設内には新最終処分場（埋立地）の建設も、令和4年3月末に完成予定で進められている。ここにも最新式の工夫がなされ、屋根と壁があることにより雨水の浸入を防ぎ、埋め立て廃棄物を洗い流すためにかけられ汚れた水はきれいな水に処理され、敷地内の樹木などの散水に利用される。ごみ焼却施設は約238億円、埋め立て施設は約64億円で建設されているが、人口増加と共にゴミの量が増え続けているため、それぞれの共用期間が30年前後と予想され、一年でも長く使うためにも住民ひとり一人が、リサイクルなどゴミの減量の工夫が求められることを痛感した。

また、施設内には新最終処分場（埋立地）の建設も、令和4年3月末に完成予定で進められている。ここにも最新式の工夫がなされ、屋根と壁があることにより雨水の浸入を防ぎ、埋め立て廃棄物を洗



クリーンの森合志

TSMC菊陽町へ進出

1. 場所

- ①菊陽町大字原水字上大谷3787番4
- ②面積：約213,340平方メートル



【造成工事中】



対象エリア

2. 新たな合併会社について

TSMCとソニーセミコンダクタソリューションズ(株)の合併でJASMの名称で菊陽町で創業予定

3. JASMのファンドリ（半導体製造工場）は2022年に建設開始、2024年末までに生産を開始

4. 投資額

約8,000億円

5. 雇用

約1,500人（先端技術に精通した人材）



【生産ラインイメージ】



【半導体チップ】

6. 月間生産量

45,000枚（300mmウエハー）の見込み
回路線幅：22～28ナノメートル

新成人の声



多くの人に支えられ、成人の日を迎えることができたことをとても嬉しく思います。私は、これから大人としての自覚と責任を持ち、目標を明確にしながら、地道な努力を続けていこうと思います。

菊陽町は若い世代が多く、元気溢れる町だと思います。私の周りには菊陽町への地元愛に溢れる人達が沢山います。それは、地域の人々の温かさを近くで感じられる町だからだと思います。人口の増加が続く菊陽町で、今後もそう感じる人々が増えていってほしいです。

相馬 瑠菜

今日、無事に成人式を迎えることができて大変うれしく思います。私がこの成人式を迎えられたのはたくさんの愛情を注いで育ててくれた家族やお世話になった先生方、幼いころから見守っていただいた地域の皆様のおかげであることを深く感謝申し上げます。

今日から晴れて大人の仲間入りをしますが、まだまだ未熟です。自分の目標に向かって努力し、少しでもお世話になった方々に恩返しできればと思います。今後とも温かい目でご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

上野 綾華



私は成人の日を迎え大人の仲間入りをすることが出来ました。まず、20年間大きな病気、怪我ひとつなく生活できたことを親、恩師、友達、関わってくれた方々に大いに感謝し、今後とも感謝の気持ちを忘れず生活していきたいと思います。また、菊陽町がよりよく誰もが当たり前で暮らせて、綺麗な町になるように、自分に出来ることを行い、少しでも菊陽町の町づくりに手助けできるように頑張りたいと思います。そのためにも、大人の自覚をしっかりと持ち、これからも精進します！

内田 璃生

本日こうして成人式を無事迎えることができたことを大変嬉しく思います。私はこの20年間菊陽町で育つ中で、地域間でのコミュニティなどを通し、菊陽町の魅力を感じてきました。そのため私は地域に育てられたと思っています。これからも地域間で支え合いながら繋がりのある町にしていきたいです。そして、私は4月から社会人となります。これを機に20年間学んできたことを糧に生きていき、日々精進してまいります。

坂上 莉奈





私たちが成人として一步を踏み出す今日まで、見守り支えてくださった家族、先生、友達、地域の皆様、本当にありがとうございます。私は今、県内の大学で法律や国際情勢について学んでいます。これから菊陽町が周囲の環境の変化と共により活気と多様性に溢れた町になっていくことを願いつつ、そんな菊陽町でグローバルな人材として活躍できるよう頑張っていきたいと思っています。大人の一員としての自覚と責任を持つことを心がけてまいりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

佐藤 千尋

無償の愛をくれる両親と、気の合う友人等の存在が、私の人生に潤いを与えてくれます。我が道を往く勝手気ままな私を、二十年間も愛してくれてありがとうございます。感謝を表現するよう賢く生きることは勿論、まずは私自身のために生きてゆきたいと思います。共に大人びてゆくこの町にも貢献するよう、勉学に励み、本懐を遂げて、理想の大人になることを新成人の抱負として掲げます。

弘 有美香



本日、無事に成人の日を迎えることができ、大変嬉しく存じます。これまで、家族や友達、地域の方、先生方など多くの方に支えられてきました。この20年間で関わってくださった全ての方々に心より感謝申し上げます。

現在、私は福岡の大学で、日々勉強に励んでいます。そして、数年後は熊本に戻り、学校の先生として頑張りたいと考えております。20年間で学んだことを活かし、これからより多くのことを経験し、自分の力にしていきたいです。

吉岡 明日佳

この度、成人という日を迎え、大人の仲間入りを果たすことができ大変嬉しく思います。この日を迎えられたのはたくさんの支えがあったおかげです。家族をはじめ、恩師、地域の方々、これまで自分の成長に関わってくださった全ての方々に感謝いたします。

また、菊陽町が住み心地のよい環境にあったことも私が成長することができた要因の1つであったと思います。これからも菊陽町は住み心地の良い町であって欲しいです。

私は大学で小学校教諭を目指し勉強しています。2年後、先生になり生まれ育った熊本に恩返しできるよう努力します。どうか暖かい目で応援してくださいと幸いです。

吉川 健太





キャロッピー食堂開催！

菊陽町地域女性の会 会長 酒井 恵

菊陽町地域女性の会は、1月8日にキャロッピー食堂を武蔵ヶ丘小学校で開催しました。本事業は、子どもたちの食育や地域交流を図ることを目的とし、食材の一部を菊池地域農業協同組合菊陽中央支所から提供していただきました。今回は、武蔵ヶ丘小学校の全児童を対象とし、カレー150食を用意しました。今後は校区ごとの開催を予定しています。



会員は、前日の夕方から食材の仕込みをして当日に備えました。当日は、110人の来場者があり、早くから並んでくれる子どもたちの姿もありました。地域女性の会の活動として、初めての開催でしたが、たくさん子どもたちが来てくれて嬉しかったです。今後は食の提供だけでなく、子どもたちと一緒に活動をして、会を重ねるごとにたくさん子どもたちが集まり、憩いの場となる「キャロッピー食堂」になればいいと思います。

そのために、皆さんにお願いしたいことは、地域女性の会の会員、仲間を増やすことです。私たちは町のいろいろな活動のお手伝いや、大津地区交通安全協会・大津警察署の皆さんと交通安全や防犯の啓発活動を行ったり、そして何よりも会員のために自分磨きの勉強も行っています。

未婚、既婚は問いません。町在住の女性の皆さん、ぜひ一緒に活動しませんか。よろしくお願いします。



表紙の紹介



青少年健全育成町民会議【親子ふれあい講座】にんじんの収穫をおこなう子どもたちの様子。そのあとカレーをつくりました。

編集後記

矢野 厚子

町民のみなさま、令和4年をどのようにお迎えになりましたか。昨年の11月頃にはコロナが落ち着き、少し安心して行動も活発になり、久しぶりに家族や友人と喜びの時間を過ごされたと思います。そんな新年を迎えたのも束の間、またたく間に過去最高の感染者数を繰り返し、再び不安な生活が始まりました。予定されていた行事も次々と中止になり、子どもたちの学校や人が集まる研修も人数制限され、肝心のみなさまの声を直接聴く機会がまた少なくなりました。そんな環境でも何とか知恵を絞ってみなさまの声を聴き、勇気や希望を感じられる紙面づくりを目標に努力してまいります。町民のみなさまもコロナに負けず元氣よくエイエイオー！

みなさんの 傍聴を お待ちしています。

議会からお願い
議会だより取材のため、腕章を着用した議会の広報委員が写真撮影に伺うことがありますので、ご理解とご協力をお願い致します。

発行責任者 上田 茂政
編集者 長 西本 友春

委員 西本 友春
副委員長 福島 知雄
委員 布田 悟
委員 中岡 敏博
委員 矢野 厚子
委員 廣瀬 英一

この議会だよりは再生紙を使っています。